

第2回大阪府食の安全安心顕彰制度 大阪府知事賞

大阪府消費生活リーダー会

当会は、大阪府消費生活センター事業であった「消費生活リーダー養成講座」・「くらしのナビゲーター養成講座」を受講した方で構成されており、発足18年目で、約90名の会員が在籍し、活動の目的は「消費生活についての知識を深め、消費生活問題について、自主的に調査・研究及び情報交換をし、消費者からの提言をはかること」を目的に活動しています。

団体の会員は、「消費のサポーター」として、地域で高齢者の被害防止を中心とする消費生活のミニ講座の講師を務める他、各々の専門分野で幅広く活躍し、近年では大阪府消費生活センターの事業である「大阪府消費者研究発表大会」において、「食」に関する研究や発表を行っています。

※大阪府消費者研究発表大会は、府内の消費者団体が環境・食・くらしの問題等について、消費者目線で調査研究した成果を創意工夫して発表する事業です。

【平成21年度発表内容 「輸入に頼る日本の食卓～大豆加工品をとりあげて～」】

日本型食生活を支える大豆の「遺伝子組み換え」「国産」といった食品表示に着目し、市場に出回る関連食品を自ら調査し、「世界大豆の5%の量を輸入している実態」と「本当に安心・安全な食品とはどういうものか」という課題提起などについて発表しています。

【平成24年度発表内容 「知っておきたい「健康食品・サプリメント」のこと」】

「健康食品・サプリメント」に関する機能表示について、「消費者は使用において自己管理をさらに求められることになる」として、「知らないではすまない『健康食品・サプリメント』の現状と問題点」などについて発表しています。

【講評】

その時代の食に関するテーマについて考え、一般消費者の立場で地道に課題を研究し問題提起する姿勢が評価されました。今後、消費者のリーダーとしてさらなる活躍が期待されます。

